



平成26年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年9月9日

上場会社名 イハラケミカル工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4989 URL <http://www.iharachem.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 望月 信彦
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役（氏名） 丸山 春樹 (TEL) 03(3822)5223
 四半期報告書提出予定日 平成26年9月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年10月期第3四半期の連結業績（平成25年11月1日～平成26年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第3四半期	28,145	24.5	2,729	48.3	3,255	27.6	2,027	30.9
25年10月期第3四半期	22,598	13.9	1,840	5.8	2,551	24.8	1,548	31.5

(注) 包括利益 26年10月期第3四半期2,716百万円 (△24.5%) 25年10月期第3四半期3,599百万円 (124.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年10月期第3四半期	44.94	—
25年10月期第3四半期	34.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年10月期第3四半期	54,064	42,183	71.5
25年10月期	50,928	39,496	70.9

(参考) 自己資本 26年10月期第3四半期38,675百万円 25年10月期 36,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年10月期	—	—	—	5.00	5.00
26年10月期	—	—	—	—	—
26年10月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年10月期の連結業績予想（平成25年11月1日～平成26年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	36,000	18.7	3,000	41.6	3,500	22.6	2,000	13.4	44.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料P3「(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年10月期3Q	51,849,917株	25年10月期	51,849,917株
② 期末自己株式数	26年10月期3Q	6,591,690株	25年10月期	6,885,956株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年10月期3Q	45,115,434株	25年10月期3Q	44,981,459株

(注) 26年10月期第3四半期の自己株式数には持株会信託の保有する当社株式数134,900株を含めております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類3ページ(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P3
(4) 追加情報	P3
3. 四半期連結財務諸表	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(セグメント情報等)	P9
(重要な後発事象)	P10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国経済が堅調に推移するなか緩やかな回復基調が見られますが、ユーロ圏及び中国における経済動向は伸び悩みが見られ、国内においては消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減もあって企業の設備投資は緩やかに上昇しつつも足踏み状態で推移しております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、中期的視点に立った販売予測を十分に反映した調達・投資の最適化や、調達・生産面での継続的な原材料費削減努力により、既存製品はもとより本格販売を開始した新製品の採算性を強く意識した取組みを実施するとともに、第50期事業年度の節目を迎える今期は、事業領域の拡大基盤とした事業推進により、顧客価値実現に向けた能動的な取組みの推進強化に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は281億4千5百万円（前年同四半期比55億4千6百万円増）、営業利益は27億2千9百万円（前年同四半期比8億8千9百万円増）、経常利益は32億5千5百万円（前年同四半期比7億4百万円増）、四半期純利益は20億2千7百万円（前年同四半期比4億7千9百万円増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

<農薬事業>

除草剤、殺菌剤、その他、農薬原料を主とした農薬事業につきましては、国内向けは水稲用除草剤の減少を芝用除草剤及び殺菌剤等の増加で補い、海外向けは既存剤の水稲用除草剤、新剤の畑作用除草剤の増加により、当事業の売上高は179億4千万円（前年同四半期比29.1%増）、セグメント利益は28億7千3百万円（前年同四半期比52.0%増）となりました。

<化成品事業>

トルエン・キシレン系化学品、精密化学品、産業薬品を主とした化成品事業につきましては、医薬中間体、トルエン・キシレン系化学品である農薬原料、樹脂原料等の増加により、当事業の売上高は91億4千4百万円（前年同四半期比18.5%増）となりましたが、セグメント利益は品目構成の変化や為替円安の影響を受け4億7千万円（前年同四半期比6.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産の残高は、売上増に伴う売掛金の増加を主因として、297億8千9百万円（前連結会計年度末は279億2千4百万円）となりました。

固定資産の残高は、有形固定資産及び投資有価証券の増加等により、242億7千5百万円（前連結会計年度末は230億4百万円）となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて31億3千6百万円増の540億6千4百万円となりました。

(負債)

流動負債の残高は、短期借入金及び買掛金等の増加に対し、前受金、未払金等の減少により、78億6千4百万円（前連結会計年度末は79億3千8百万円）となりました。

固定負債の残高は、長期借入金、繰延税金負債の増加等により、40億1千6百万円（前連結会計年度末は34億9千3百万円）となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて4億4千9百万円増の118億8千1百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、利益剰余金の増加を主因として、前連結会計年度末に比べて26億8千6百万円増の421億8千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年12月12日に公表しました業績予想から変更ありません。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（「従業員持株会信託型E S O P」における会計処理）

当社は平成26年3月12日開催の取締役会決議により、中長期的な企業価値の向上を目的として、従業員インセンティブ・プラン「従業員持株会信託型E S O P」（以下「本制度」と言います。）の導入を行いました。

本制度は「イハラケミカル工業グループ従業員持株会」（以下「持株会」と言います。）に加入する当社グループ社員のうち、一定の要件を充足する者を受益者とする信託（以下「持株会信託」と言います。）を設定し、持株会が今後5年間にわたり取得すると見込まれる数の当社株式を、借入により調達した資金で一括して取得いたします。なお当社は、持株会信託の当該借入に対し補償を行います。

本制度導入後持株会による当社株式の取得は、持株会信託より行います。持株会による当社株式の取得を通じ、持株会信託に売却益相当額が累積した場合には、これを残余財産として受益者要件を充足する当社グループ社員に対して分配します。一方、当社株価の下落により持株会信託が借入債務を完済できなかった場合には、当社が借入先銀行に対して残存債務を弁済します。その際、持株会に加入する当社グループ社員がその負担を負うことはありません。

なお、第2四半期連結会計期間より「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（企業会計基準委員会 実務対応報告第30号（平成25年12月25日公表））を早期適用し、総額法を適用しております。

（法定実効税率の変更）

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成26年法律第10号）が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後開始する連結会計年度から復興特別法人税が課されないことになりました。

これに伴い繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、平成26年11月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については、従来の37.2%から34.8%となります。この変更に伴う影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,443	6,978
受取手形及び売掛金	8,616	9,988
有価証券	496	494
商品及び製品	6,215	5,721
仕掛品	2,082	1,880
原材料及び貯蔵品	2,536	3,434
繰延税金資産	590	560
その他	943	731
貸倒引当金	△1	—
流動資産合計	27,924	29,789
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,278	11,528
機械装置及び運搬具	31,432	31,799
土地	3,708	3,708
その他	2,375	3,219
減価償却累計額	△38,982	△39,719
有形固定資産合計	9,812	10,537
無形固定資産		
投資その他の資産	98	92
投資有価証券	12,065	12,590
繰延税金資産	285	275
その他	750	789
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	13,093	13,645
固定資産合計	23,004	24,275
資産合計	50,928	54,064
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,548	3,768
短期借入金	400	700
1年内返済予定の長期借入金	—	68
未払法人税等	458	533
賞与引当金	467	242
その他	3,063	2,552
流動負債合計	7,938	7,864
固定負債		
長期借入金	—	251

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
退職給付引当金	1,381	1,417
役員退職慰労引当金	440	492
繰延税金負債	1,583	1,773
その他	87	81
固定負債合計	3,493	4,016
負債合計	11,431	11,881
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,764	2,764
資本剰余金	5,148	5,375
利益剰余金	26,167	27,969
自己株式	△1,701	△1,703
株主資本合計	32,378	34,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,763	4,122
為替換算調整勘定	△19	147
その他の包括利益累計額合計	3,744	4,269
少数株主持分	3,373	3,508
純資産合計	39,496	42,183
負債純資産合計	50,928	54,064

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)
売上高	22,598	28,145
売上原価	17,525	21,927
売上総利益	5,073	6,218
販売費及び一般管理費	3,232	3,488
営業利益	1,840	2,729
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	141	157
受取賃貸料	28	26
持分法による投資利益	197	321
為替差益	328	7
その他	20	21
営業外収益合計	721	538
営業外費用		
支払利息	5	12
その他	4	0
営業外費用合計	10	12
経常利益	2,551	3,255
特別利益		
固定資産売却益	3	—
投資有価証券売却益	—	2
受取保険金	—	23
保険差益	3	—
特別利益合計	7	25
特別損失		
固定資産除却損	53	52
賃借物件原状回復費用	—	6
特別損失合計	53	58
税金等調整前四半期純利益	2,505	3,223
法人税等	796	1,040
少数株主損益調整前四半期純利益	1,709	2,182
少数株主利益	160	155
四半期純利益	1,548	2,027

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,709	2,182
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,742	367
持分法適用会社に対する持分相当額	147	166
その他の包括利益合計	1,889	534
四半期包括利益	3,599	2,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,433	2,552
少数株主に係る四半期包括利益	165	164

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年11月1日至平成25年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬事業	化成品事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	13,900	7,719	21,620	978	22,598	—	22,598
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	23	23	478	502	△502	—
計	13,900	7,743	21,644	1,457	23,101	△502	22,598
セグメント利益	1,890	505	2,396	72	2,468	△628	1,840

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファフィア酵母等の飼料用添加剤、工業薬品類等の製造、販売を行っております。

2. セグメント利益調整額△628百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年11月1日至平成26年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬事業	化成品事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	17,940	9,144	27,084	1,060	28,145	—	28,145
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	22	22	527	549	△549	—
計	17,940	9,167	27,107	1,588	28,695	△549	28,145
セグメント利益	2,873	470	3,344	31	3,376	△646	2,729

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファフィア酵母等の飼料用添加剤、工業薬品類等の製造、販売等を行っております。

2. セグメント利益調整額△646百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成26年9月9日付の取締役会において、第三者割当による自己株式の処分を行うことを決議致しました。自己株式の処分に関する取締役会の決議内容は、以下のとおりであります。

- | | |
|------------|--|
| 1. 処分期日 | 平成26年9月26日 |
| 2. 処分株式数 | 普通株式 628,000株 |
| 3. 処分価額 | 1株につき 974円 |
| 4. 処分価額の総額 | 611,672,000円 |
| 5. 処分方法 | 第三者割当による処分 |
| 6. 処分先 | 株式会社カネカ 308,000株
株式会社ジェイエスピー 120,000株
鈴与株式会社 200,000株 |
| 7. 資金の用途 | 運転資金の安定確保 |
| 8. 処分理由 | 当社グループの化成品事業強化並びに今後拡大の見込まれる農薬事業及び化成品事業における物流の安定・強化を目的に、第三者割当により自己株式を処分することといたしました。 |